

南中学校の概要

1 沿革

昭和 35 年 4 月 1 日	五郷中学校と鶴枝中学校を統合して南部中学校と称する。
昭和 36 年 3 月 1 日	南中学校と校名を改称する。
昭和 36 年 10 月 10 日	茂原市早野 2810 番地に新校舎が落成する。
昭和 37 年 4 月 1 日	学区変更により、茂原小学校区の早野地区、東茂原地区、大芝地区が学区となる。
昭和 45 年 4 月 1 日	南中学校区に中の島小学校が設立される。
昭和 57 年 4 月 1 日	早野中学校の新設に伴い、五郷小学校区と鶴枝小学校区及び茂原小学校区の一部が早野中学校区となる。
昭和 62 年 3 月 28 日	現在地（茂原市上永吉 1185 番地 2）に移転する。 同年 4 月 7 日に新校舎が落成する。
昭和 62 年 4 月 1 日	学区変更により、鶴枝地区が南中学校区となる。
平成 5 年 3 月 2 日	柔剣道場（翔鵬館）が落成する。

2 学校概要（学校ウェブページから抜粋）

本校の位置は、「ひめはるの里」に隣接した高台で、北緯 35 度 24 分、東経 140 度 18 分、海拔 42.50mにある。

本校の学区は、東西 4.4km、南北 5.2kmで、東は茂原警察署に近い東部台団地、ジャパンディスプレイに隣接した住宅地区、その南西に広がる農村地区からなる。

住民は全国各地から集まっており、保護者の多くが市内の会社や工場に勤めている。



3 校章

校章は昭和 36 年にデザインされたもので、モチーフは「鵬、南へゆく」。校名の南中を大きく広げた鵬の翼で囲み「力強さ、大きなはばたき、持続する」という意味を表している。



鵬というのは、想像上の大鳥の名で、鯤（コン）という大きな魚が化したものとされ、翼の大きさは三千里であり、一度に九万里も飛ぶといわれている。

この鵬という鳥の名は、「逍遙の遍」という中国の古い書物の中に出ている。この書物は、今からおおよそ 2300 年前の中国の人、荘子の書いた文を集めて作られたもの。この書物の中に「ここに鳥がすみ、その名を鵬という。背

は泰山のようで、翼は天空にたれこめる雲と区別がつかないほどである。立ちのぼる旋風に羽ばたき、旋回しながら上昇すること九万里、雲海のかなたに出て、青天を背にしながらかがて南をさし、南極の暗い海に向かおうとする。」と記されている。「鵬、南へゆく」もこの文によっている。

校歌の三番は校章のことを歌ったものであり、玄関前の庭にあるモニュメント「はばたき」もこの鵬の羽ばたき。

4 校歌

作詞・作曲 島田春雄

- 1 はるかに天地 寄り合うところ 海はとどろき われらに語る
茂原を開き 茂原を築きし 父祖のいさおを 世世に伝えよと
茂原 茂原 茂原 茂原 ふるさと茂原
茂原南中学校 われらが母校
- 2 うららに日の照る 広野のかなた 川はひねもす われらに語る
光に歩め たゆまず進め 学徒の道を 日々に履み行けと
茂原 茂原 茂原 茂原 ふるさと茂原
茂原南中学校 われらが母校
- 3 大空ゆたかに 飛ぶ鵬の 翼の徽章は われらが誇り
友よ 朝に 夕べに鍛え 万里の風に 共に羽ばたかむ
茂原 茂原 茂原 茂原 ふるさと茂原
茂原南中学校 われらが母校